

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第154号	氏名	中野 浩文
学位審査委員	主査 増崎 英明 副査 江口 勝美 副査 永安 武		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は肺がん細胞を用いて、薬剤耐性獲得の機序について検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 乳がん耐性蛋白質(BCRP)を発現していない小細胞肺がん感受性株と BCRP を発現している耐性株を用いて、メチル化阻害剤投与が BCRP 発現に及ぼす影響を検討し、さらにメチル化の有無を簡単かつ少ない検体量で検出可能な MSP 法の開発を検討したものであり、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、BCRP 遺伝子のプロモーター領域を含む発現調節領域の脱メチル化によって BCRP 蛋白が誘導され、ポンプ機能の発現が認められた。また新しく開発した MSP 法を用いた BCRP のメチル化の判別は薬剤耐性の有無を予測する新たなバイオマーカーになりうることが示唆された。これは抗がん剤選択に関するテーラーメイド治療に連なる可能性があり、基礎的研究として高く評価される。</p> <p>以上のように本論文はがん化学療法の研究に寄与するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			